

第45回たざわ湖・龍神まつり



二人の出会いを再現

7月25日、第45回たざわ湖・龍神まつりが田沢湖畔で開催され、会場はたざわ湖TAKO音楽祭や屋台販売などで盛況ぶりを見せました。

あいにくの豪雨となり開催も危ぶまれましたが、夜のメインとなる双龍の演舞では、この日のために集まった龍体の担ぎ手たちが威勢の良い掛け声を響かせながら、辰子と八郎太郎との出会いを再現しました。

祭りのフィナーレを飾るたざわ湖大花火の打ち上げが始まると、会場からはひととき大きな歓声が上がりました。



メインイベントとなる「双龍の出会い」では、迫力ある舞いを披露。会場は熱気に包まれ、観客を魅了しました。

平成27年度玉川ダム交流会



電気や水のことを学ぶ



「ダムについていろいろ知ることができた」「ダムの堤体内は寒くて、ダムは深いと思った」など、児童たちにとって新しい発見がありました。

おうと、毎年恒例の玉川ダム交流会が行われ、水源地である仙北市内7小学校と受益地の大仙市、秋田市の3小学校の4年生282人が参加しました。

児童らは、ダムの堤体内や玉川発電所などを熱心に見学。ダムや発電の仕組みを学習しました。昼食後には、酸性・アルカリ性の実験コーナーや魚や昆虫がいる生き物コーナーで体験やふれあいを楽しみました。また、事前に用意した自分の名刺を児童同士で交換し合い、他校との交流を深めました。

老人クラブ世代間交流運動会



世代を超えた交流深まる

7月27日、吉田体育館（松木内）で仙北市老人クラブ連合会が主催する世代間交流運動会が行われました。

市内老人クラブ会員の皆さんや、ひのきない保育園の園児ら200人を超える参加者が紅白に分かれ、風船取り競争や煎餅食い競争などで競い合いました。

この日は気温が真夏日となり、うだるような暑さにもかかわらず、園児たちの元気なかけ声に参加者も力をもらい、大会は和気あいあいとした雰囲気の中、楽しい一日となりました。



参加者の皆さんは、園児らとハッスルプレー続出。暑さも吹き飛ばし、なごやかに交流を深めました。

大仙・仙北・美郷畜産共進会



肉用牛・若雌部門で優等賞

7月24日、大仙市神岡・さくら公園で第9回大仙・仙北・美郷畜産共進会が開催されました。

肉用牛部門では、千葉公夫さん（角館町白岩）が見事優等賞を受賞しました。

今年は、8月29日に開催される秋田県畜産共進会への予選会も兼ねており、千葉さんは上位大会へ進む一番出品頭数が多い部門での受賞となりました。

秋田県畜産共進会は、由利本荘



肉用牛・若雌部門でみごと優等賞を受賞した千葉公夫さんと「はなご号」。

市あきた総合家畜市場で開催され、仙北市からも複数頭出品することになっています。

農村で楽しむ仙北は♡あーと展



おなじみカシがお出迎え

8月1日から2日にかけて、市内の農家民宿7軒で、「第4回農村で楽しむ仙北は♡あーと展」が開催されました。

このイベントは仙北市農山村体験推進協議会（門脇富士美会長）が主催し、普段なかなか訪れることのない農家民宿を広く知ってもらうおうと、ギャラリーに見立てた会場で、県内外の作家の作品などを展示販売するものです。

今年も農家民宿前には目印の力



会場の農家民宿もそれぞれ雰囲気があり、手作り作品との相性も抜群です。

カシを設置。陶器や小物、手芸、手作りお菓子などの22店舗が出店し、多くの家族連れで賑わいを見せました。

角館小学校を会場に防犯教室



警察犬の動きに歓声響く

7月21日、仙北市防犯協会角館支部主催による防犯教室が角館小学校で開催されました。

会場では、警察犬による訓練の実演が行われ、児童たちは警察犬の役割についての話を聞いたり、警察犬とふれあったりして、警察犬についての理解を深めました。

また、仙北警察署の署員やスクールガードリーダー（地域学校安全指導員）による不審者からの身の守り方の指導もあり、児童ら



児童たちは、警察犬の賢さや指示どおりの動きに歓声を上げていました。

は、「今日学んだことをいかして、夏休みを安全に過ごしたい」と話していました。

仙北市防犯協会設立 10 周年記念式典

さらなる防犯意識の向上へ

7月26日、仙北市防犯協会設立10周年記念式典（坂本邦夫会長）が角館樺細工伝承館で行われ、同協会の会員や協力団体のメンバーら約130人が参加しました。式典では、仙北警察署長と仙北市防犯協会長の連名により、長年の功績に対し、仙北市金融防犯連合会に感謝状が贈呈されました。また、市内5つの中学1年生による防犯に関する記念発表や角館高校の青柳徹校長が「高校生の底



参加者は中学生の防犯に関する記念発表について、熱心に耳を傾けていました。

力」と題した講演を行うなど、同校の飾山囃子部の記念演芸も披露され10周年をお祝いしました。

地域の交通安全に尽力

7月10日、秋田県交通安全母の会連合会が結成40周年を迎え、記念式典が秋田県児童会館で開催されました。式典では交通安全功労者表彰が行われ、個人の部で藤岡トミ子さん（生保内字武蔵野）が表彰されました。藤岡さんは、田沢湖町生保内交通安全母の会会長などを歴任し、約40年間、地域の交通安全活動を推進してきました。一番の思い出は、交通安全全国キャラバンと街



長年、交通安全母の会の活動に参加してきた藤岡トミ子さん。「これからも交通安全に貢献していきたい」と話しました。

頭指導とのこと。街頭指導では、「小学6年生の児童から感謝の手紙と贈り物をいただいたことがとてもうれしかった」と話しました。

まちづくり日記

No.87

『お盆で帰省の皆さんへ』

仙北市長 門脇 光浩

お盆で帰省の皆さん、お帰りのさい。久しぶりの故郷を満喫されていることと思います。家族や友人と楽しい時間を過ごし、元気に頑張れるエネルギーを思い切り充電してください。そして、できれば皆さんのご先祖様とお話しをする時間を持つてください。

私たちが存在するには、これまで累世にわたる命のリレーがありました。父母、祖父母、曾祖父母…。事故や病気で亡くなった家族、時代によっては戦死もあったでしょう。そんな全ての命、愛と言った方が適切かも知れませんが、先人の恩恵をバトンのごとく受け継いで、私たちは今に生を受けています。この事実を意識して暮らす方々にとっては、お盆は日常の延長にある行事なんだとか。

でも私はダメです。信仰心も薄く仏事の知識はほぼ0点。そんな私にとってお盆はかなり特別です。この1年を振り返り、ご先祖様に幾つか質問を投げかけます。「私は家族や周囲に役立つ存在だったでしょうか。あの判断は正しかったでしょうか。仙北市は明るい明日に一步でも近づいている

でしょうか」。そして源泉事故や土石流災害、雪崩事故、大雪・大雨、山岳遭難等で亡くなった方々を偲びます。

今年は第二次世界大戦が終結して、70年目の夏です。命をかけて家族を守り、国を守った皆さんのお蔭で、現在の繁栄があります。戦争を体験した皆さんの苦悩は想像さえ困難ですが、その爪先ほどであっても、私たちは故郷を守り、興す作業に全力であらなければなりません。リレーは命ばかりではなく、先人の願いや責務も一緒にバトンタッチされているからです。

お盆休みで帰省の皆さん、故郷は人口減少や矮小化経済の中で、それでも何とか活路を見出そうと必死です。皆さんのご先祖様が眠るこの地は、皆さんの根源に違いなく、たとえ実家を留守にしているも、私たちと共に未来を拓く仙北市民です。どうか一層のお力添えをお願いします。

それにしても、送り火でお別れする前に、「ご先祖様が「大丈夫、心配ないよ」「こんなふうに答えてくれたら、どんなに嬉しいでしょう」。

白寿のお祝い おめでとう ございます

7月21日、白寿を迎えられた鈴木リツさんに、仙北市からお祝いと花束が贈呈されました。



白寿を迎えられた鈴木リツさん（前列左）

東北小学生バドミントン 大会秋田県予選会

7月26日、第21回東北小学生バドミントン大会秋田県予選会が能代市総合体育館で行われ、市内スポーツ少年団の選手が活躍しました。主な結果は次のとおり。（敬称略）

- ▼3年生女子シングルス 準優勝 加藤紗菜
- ▼4年生以下男子ダブルス 準優勝 武藤佳輝（3年）・三浦剛貴（2年）
- ▼6年生男子シングルス 4位 三浦悠



10月に青森県で開催される東北大会には、ダブルスの武藤佳輝君と三浦剛貴君と三浦悠君が出場。

田沢湖駅周辺で除草作業 ボランティア活動を実施



田沢湖駅駐輪場周辺の除草作業に汗を流す生徒たち。毎日通学する駅の保身を心がけていました。

7月26日、雫石高校（岩手県）田沢湖地区の生徒が、田沢湖駅駐輪場周辺の除草作業ボランティア活動を行いました。この活動は、毎年学校行事の一環として行われているもので、この日は生徒22人と保護者18人が参加。田沢湖駅周辺の除草を一生懸命行い、心地よい汗を流しました。

毎月 19 日は食育の日

食育に取り組もう！

仙北市では、市民の皆さんが各テーマを通じて『食育』についての取り組みを知っていただくため、仙北市の食育推進事業を掲載しますので、仙北市ホームページに掲載中の計画もあわせてご覧ください。

身近な食育

今回は身近な食育推進活動をご紹介します。

仙北市では生後7か月の乳幼児をもつ親子を対象にした乳児食育教室（離乳食教室）を行っています。この教室では、保健師や栄養士による乳幼児の身体計測や離乳食についての個別相談、育児相談、予防接種の確認等を行っており、実際にお母さんやお父さんが栄養士と共に作った離乳食を子どもに食べてもらうといったこともしています。この教室は、生後7か月を迎える乳幼児をもつ各ご家庭に仙北市から案内を送り実施しています。

「第2期仙北市食育推進計画」では乳幼児期の目標を「栄養バランスに心がけ、食に興味を持たせる」としています。乳幼児期は、心身機能や食行動の発達が著しいことから、バランスの良い食事習慣を心がけ、離乳食の重要性を考えます。各ライフステージごとの取り組み目標は仙北市ホームページをご覧ください。

毎月19日は「食育の日」

「食育の日」には各地で様々な食育の普及啓発活動が展開されています。8月には多くの夏野菜が旬を迎えています。中には少し苦手意識のある野菜はありませんか。食育の日には自分が苦手な野菜を工夫して食べてみるといった取り組みをしてみたいかがでしょうか。仙北市では1日3食、栄養バランスのとれた食事を選択する力を身につけるよう推進しています。

仙北市食育推進会議・総合産業研究所 ☎43-2243

